

## 【統合分野 I】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
在宅看護概論	1	15	2	1
講師	看護師			
講義目的	地域を基盤として行うシステム化された専門的なサービス活動の対象、範囲、責任を学ぶ。在宅看護の特徴、在宅看護の歴史的役割と課題についても学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	在宅看護を学ぶにあたって 在宅看護で心がけること	講義		
2	在宅看護の目的と特徴 在宅看護の目指すもの 在宅看護における看護師の役割	講義		
3	在宅看護の対象者 年齢・疾患・障害からみた対象者の特徴	講義		
4	在宅療養状態別にみた対象者の特徴	講義		
5	在宅療養の支援 在宅看護の提供方法 在宅療養の場の移行 在宅看護の基本となるもの	講義		
6	在宅看護の制度・法令	講義		
7	訪問看護の制度	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【統合分野 I】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
在宅看護援助論 I		1	15	2	1
講師	看護師				
講義目的	在宅ケアアセスメント・ケアプランについて理解し、在宅看護の進め方、援助関係の過程を理解する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	在宅看護の対象 ケアマネジメントのプロセス 多職種連携とネットワークづくり	講義			
2	在宅看護における看護展開方法の実際 対象者の把握方法 環境や家族の視点	講義			
3	在宅療養の支援 在宅看護の提供方法 療養の場の移行 入退院時における医療機関と訪問看護の連携	講義			
4	在宅における連携の特徴 介護保険の社会資源との連携	講義			
5	在宅看護の展開 入院患者と在宅療養者の看護過程展開の相違点 入院期間中からの在宅療養への準備 社会資源とその窓口	講義			
6	入退院時における医療機関と訪問看護の連携 継続看護の実際 災害支援・高齢者虐待・権利擁護	講義			
7	生活を支える制度と支援体制の実際	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

## 【統合分野Ⅰ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
在宅看護援助論Ⅱ		1	15	2	2
講師	看護師				
講義目的	在宅の事例をもとに在宅看護の実際を学ぶ。また、終末期事例を取り上げ看護展開し、在宅における終末期看護の実際を学ぶ。(看護過程の展開)				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	事例を用いた在宅看護の展開 在宅看護の実際	講義			
2	在宅で療養する慢性疾患のある人への在宅ケア	講義			
3	在宅で人工呼吸療法を受ける人へのケア	講義			
4	在宅で療養する身体に障害のある人へのケア 必要な退院支援と連携	講義			
5	在宅で療養する小児の在宅看護の実際	講義			
6	在宅で療養する終末期を迎えた人へのケア 必要な退院支援と連携 肝がん終末期の在宅看護の実際	講義			
7	看取りの実際とグリーフケア	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【統合分野Ⅰ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
在宅看護演習		1	30	1	1
講師	専任教員				
	在宅看護を専門領域とする教員が、講義および演習により教授する。				
講義目的	在宅看護に必要な日常生活援助技術、指導技術、家庭での治療に伴う処置技術を習得する。				
時	授業内容	授業方法		備考	
1	訪問看護の基本技術 初回訪問時の面接技術 面接時の心構え 訪問時のマナー 訪問の事例	講義			
2	在宅看護における安全の確保 医療事故防止 災害時の対応 在宅看護における感染防止 スタンダードプリコーション 感染性廃棄物の取り扱い	講義			
3	在宅看護の日常生活援助技術の基本 在宅でその人らしい生活を支える	講義			
4	在宅看護の日常生活援助技術の基本 食事の援助	演習			
5	在宅看護の日常生活援助技術の基本 排泄の援助	演習			
6	在宅看護の日常生活援助技術の基本 移動動作の援助 睡眠の援助	演習			
7	在宅看護の日常生活援助技術の基本 清潔の援助 衣生活の援助(洗髪)	演習			
8	在宅で日常生活を支える看護の工夫	演習		(45分)	
9	在宅における医療管理を必要とする人の看護 吸引の技術 介護者への吸引指導	講義			
10	在宅における医療行為に伴う技術 経管栄養法と胃ろうの管理 在宅中心静脈栄養法の管理	講義			
11	在宅における医療行為に伴う技術 経管栄養法の実際	演習			
12	在宅における医療行為に伴う技術 膀胱留置カテーテルの挿入と管理の実際 自己導尿の指導	講義 演習			
13	在宅における医療行為に伴う技術 在宅酸素療法の管理と指導 在宅人工呼吸器の管理と指導	講義			
14	在宅における医療行為に伴う技術 在宅酸素療法 在宅人工呼吸器(NPPV)の管理	講義 演習			
15	在宅で療養する子どもへのケア 精神疾患のある療養者へのケア	講義			
16	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【統合分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
看護管理		1	30	3	1・2
講師	専任教員・看護師				
	病院での看護管理者としての業務経験を活かし、講義により教授する。				
講義目的	チーム医療・看護ケアにおける看護師としての調整とリーダーシップ、マネジメントのための基本的な知識を学ぶ。看護管理を学ぶことにより、幅広い知識の統合性や深い専門性、高い管理能力の重要性を認識し、看護の発展に貢献できるための資質について考える。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	看護とマネジメント 看護の視点で管理を考える	講義			
2	組織とマネジメント 組織化 組織構造	講義			
3	組織とマネジメント 変化と組織変革 組織社会化	講義			
4	組織とマネジメント 目標管理 コーチング	講義			
5	看護ケアのマネジメント 患者の権利と尊重	講義	(45分)		
6	看護ケアのマネジメント 患者管理 安全管理 感染管理 日常業務のマネジメント タイムマネジメント	講義			
7	看護ケアのマネジメント チーム医療 多職種連携 問題解決能力	講義			
8	組織目的達成のマネジメントの実際	講義			
9	看護サービス提供のしくみづくり	講義			
10	情報のマネジメントの実際	講義			
11	人材育成のマネジメントの実際	講義			
12	施設・設備・物品のマネジメントの実際	講義			
13	リスクマネジメントの実際	講義			
14	看護職のキャリアマネジメント 管理者になること ストレスマネジメント アンガーマネジメント	講義			
15	看護職のキャリアマネジメント 管理者になること 管理者に必要な能力・要素 管理者がもつパワー リーダーシップとマネジメント 管理者として認められるには	講義			
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護講座 統合分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【統合分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
災害看護		1	15	1	1
講師	看護師(DMAT隊員)・専任教員				
講義目的	世界の看護に視野を置き、国際的視点で医療・看護を考えることができる。災害看護や国際協力の実際を学び、看護の国際貢献についての基礎的理解を深める。				
時	授業内容	授業方法		備考	
1	災害に関する基礎知識 災害の歴史と災害医療 災害看護の定義と役割	講義			
2	災害サイクルに応じた看護活動 急性期・亜急性期 被災地の病院での活動 避難所の立ち上げと看護活動 救助活動の実際 トリアージ 慢性期・復興期	講義			
3	急性期の主な疾患と看護	講義			
4	ゾーニングタグの書き方 被災者および援助者心のケア 感染症対策	講義 演習			
5	被災者特性に応じた災害看護の展開 トリアージ机上シミュレーション 災害対応訓練	講義 演習			
6	海外協力隊の活動体験の実際	講義			
7	看護における国際化の視点 国際社会における看護の対象 多様な文化と看護 国際協力活動と看護	講義			
8	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 災害看護・国際看護 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【統合分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
医療安全を守る技術Ⅰ		1	15	2	2
講師	看護師				
講義目的	医療安全に関する基礎的な知識を学び、事故を予防するための原則について理解する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	医療安全とは 看護における医療安全とは 医療安全対策の法的位置づけ 医療事故等の定義・分類	講義			
2	事故発生のメカニズム ヒューマンエラーと人間特性	講義			
3	事故防止の考え方について 医療安全と看護業務 看護事故の構造	講義			
4	診療の補助の事故防止 患者に投与する業務における事故防止(注射)	講義			
5	診療の補助の事故防止 患者に投与する業務における事故防止(内服) 継続中の危険な医療行為の観察管理における事故防止	講義			
6	療養上の世話の事故防止(転倒・転落) 事故分析(RCA分析)	講義			
7	業務領域を超えて共通する間違いと発生要因	講義			
8	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[2] 医療安全 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【統合分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
医療安全を守る技術Ⅱ		1	15	3	1・2
講師	専任教員				
	病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。				
講義目的	対象の安全を守るための基礎的な知識(分析ツール・ヒューマンエラー・倫理等)や技術(事故予防のための技術)習得する。併せて、看護者に必要な安全に対する問題意識やリスク感性を高め、安全文化の醸成につながる能力を養う。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	組織的な医療安全管理体制の概要 医療安全における看護の倫理と責任	講義			
2	組織としての感染予防対策	講義			
3	医療安全とコミュニケーション	講義 演習			
4	医療事故予防と看護実践 事例を用いた要因分析と防止策(療養環境に伴うリスク)	講義 演習			
5	医療事故予防と看護実践 事例を用いた要因分析と防止策(転倒 転落 外傷)	講義 演習			
6	医療事故予防と看護実践 事例を用いた要因分析と防止策(誤薬 患者誤認)	講義 演習			
7	事例を用いたシミュレーション	演習			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[2] 医療安全 医学書院				
評価方法	筆記試験				



【統合分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
看護技術の統合	1	30	3	1
講師	専任教員			
	病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	看護実践能力の強化をめざす。臨床の看護実践に近い方法で看護について学び、卒業後の看護業務遂行の円滑化をはかる。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	対象の症状・状況に応じた看護実践 肝硬変患者の看護 心筋梗塞でPCI治療を受ける患者の看護 関連図 看護計画の立案	講義		
2	事例患者における看護計画立案と計画した看護の実施	演習		
3	症状アセスメント 肝硬変患者に起こりうる症状 心筋梗塞でPCI治療を受ける患者に起こりうる症状	講義 演習		
4	症状アセスメント 肝硬変患者に起こりうる症状がある患者の看護 心筋梗塞でPCI治療を受ける患者に起こりうる症状がある患者の看護	演習		
5	対象の症状に応じた援助の実施 心筋梗塞でPCI治療を受ける患者の看護実践	講義 演習		
6	対象の症状に応じた援助の実施 肝硬変で症状のある患者の看護実践	講義 演習		
7	対象の症状に応じた援助の看護実践(OSCE前演習) 心筋梗塞でPCI治療を受ける患者の看護実践 肝硬変で症状のある患者の看護実践	演習		
8	看護ケアのマネジメント(日常業務のマネジメント) 事例場面におけるシミュレーション課題	講義 演習		
9	事例場面におけるシミュレーション課題 タイムスケジュール 優先順位について	講義 演習		
10	複数患者の看護ケアにおけるマネジメント 事例紹介 必要な看護ケアの抽出	講義 演習		
11	複数患者の看護ケアにおけるマネジメント 行動計画の立案	講義 演習		
12	複数患者の看護ケアにおけるマネジメント 事例患者に必要な看護技術練習	演習		
13	複数患者の看護ケアにおけるマネジメント ロールプレイング	講義 演習		
14	複数患者の看護ケアにおけるマネジメント ロールプレイング振り返り まとめ	講義 演習		
15	終講試験		(45分)	
16	技術評価		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3]循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]消化器 医学書院 等			
評価方法	筆記試験 客観的臨床能力試験(OSCE)			